

第 60 回大会報告

一般財団法人日本環境衛生センター主催により、平成 28 年 10 月 26～10 月 28 日、神奈川県川崎市の川崎市産業振興会館とソリッドスクエアの 2 会場にて「第 60 回生活と環境全国大会」が開催された。本年は、「環境と健康」をテーマに、延べ 2,420 名の方々に来場いただいた。

大会式典

27 日の午前中は、大会式典が行われ、当センター南川秀樹理事長が開会宣言を行い、奥村明雄大会長の挨拶では、「先年の東日本大震災以降、大規模な災害が連続して発生しており、よりいっそうの防災・減災の努力と復旧・復興の促進をすすめるとともに、パリ協定を受けての地球温暖化対策やグローバル化の進展に伴う海外からの感染症等の様々な問題を踏まえ、さらに 60 回の節目の大会になることから、『環境と健康』をメインテーマに企画した」と述べた。

続き、ご臨席の来賓として、環境省から小林正明環境事務次官、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課から吉岡明男課長補佐、神奈川県から中島正信副知事、川崎市から福田紀彦市長にご祝辞を頂いた。

その後、環境大臣表彰、厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状、第 60 回生活と環境全国大会長感謝状の贈呈が行われた。受賞者代表謝辞は神奈川県の内山勝博氏が述べ、最後に次期開催地として三重県の井村欣弘廃棄物・リサイクル課長が挨拶をされた。各受賞者数は次の通り。

<環境大臣表彰>

平成 28 年度一般廃棄物関係事業功労者 21 名

平成 28 年度生活環境改善功労者 26 名

平成 28 年度生活環境改善模範地区 7 地区

平成 28 年度廃棄物・浄化槽研究開発功労者 9 名

<厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状> 75 名

<第 60 回生活と環境全国大会長感謝状> 75 名



大会行事

式典に続き、地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 理事長の土屋了介氏の特別講演「遺伝と環境」が行われ、200名の参加があった。



また午後には特別企画シンポジウム「火山の脅威と恵み～温泉を視点に火山との共生を考える～」が開催され、公益財団法人中央温泉研究所長の益子保氏の基調講演「火山の恵みとしての温泉」、その後、益子氏によるコーディネーターのもとに、行政、企業、学識者をパネリストにシンポジウムが行われ90名が参加した。



同シンポジウムに併行して、全国環境衛生職員団体協議会（全環職）による環境衛生監視に関する「事例研究発表会」が行われた。発表会では全国から14題の事例報告がされ、参加者は200名であった。

翌日には、3つの公開講座が開催された。公開講座「いま起きている身の回りの諸問題 - 生活衛生・感染症・生態系について考える -」には130名、公開講座「神奈川県環境

保全への取り組みと川崎市の公害対策・今後の展望」には78名が来場し、一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会との共催企画である公開講座「再生可能エネルギーと資源循環」では240名が来場した。

ソリッドスクエアホール内ホワイエでは27日及び28日に「生活と環境展示会」を開催し、プラントメーカーや市民団体等の13ブースにおいて活動報告や製品の紹介等が行われ、669名が来場した。

関連行事/併催行事

26日の午後は、全国環境衛生・廃棄物関係課長会プログラム「災害時におけるトイレの確保と衛生対策」が開催され、100名が参加した。また、同日、全国環境衛生・廃棄物関係課長会の部会及び総会が開催された。

27日には、全環職の総会が開催され、総会会場では平成28年度会長感謝状贈呈が79名に、平成28年度優秀論文賞が12名に贈られた。同日、日本環境斎苑協会による「第30回全国火葬情報交換会」が開催され、講演や事例報告が行われ100名が参加した。

次回開催について

開催予定地及び会場 : 三重県四日市市・四日市市文化会館
開催予定日 : 平成29年10月18日(水)～10月20日(金)
メインテーマ : 宇宙と環境(仮)